

豊田市議会自民クラブ議員団

**「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」
に対する回答**

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 ラグビーワールドカップ2019™を活かした暮らし てよし・訪れてよしのまちづ くりの推進 【継続】 【要望内容】 ① 「とよたビジョン」に基 づき、ラグビーワールドカッ プを契機に取り組む本市の まちづくりを、大会後も引き 続き推進するため、都市の国 際化、コミッションの推進、 国内外への情報発信などを 行う予算を確保すること。	① ・都市の国際化については、「第2次国際化推進計画」や「観光実践計画」に基づき、サイン施設・ウェブサイト・観光マップ等の多言語化や外国人おもてなし市民会議を通じたおもてなし事業等により進めていく。 （経営戦略部 国際まちづくり推進課、 都市整備部 都市整備課、産業部 商業観光課） ・コミッションについては、ラグビーワールドカップ2019™開催時に外国人を始めとする来訪者のおもてなしについて、庁内の関係課で構成する「まちなかおもてなし部会」が中心となり、民間団体等とも連携をしながら、本市の魅力を活用したおもてなしを実施し、大会後も引き続き推進していく。 （経営戦略部 経営戦略課、ラグビーワールドカップ2019推進課） ・国内外への情報発信については、豊田市のPR動画等を公式旅行会社や訪日旅行のサイトで効果的に活用し、豊田市の魅力を広く発信する。あわせて、ホームページ内のラグビーワールドカップ2019™のページの充実を図る。 ・また、海外からのメディア等に対応するため、ラグビーの試合以外にも観光情報などを提供できる専用の問合せ先を設けるなどの環境整備を行う。 （経営戦略部 ラグビーワールドカップ2019推進課）	・サイン施設再整備費（20百万円） ・観光プロモーション費（4百万円） ・外国人のおもてなし推進費 （16百万円） ・ラグビーワールドカップ2019 開催費・開催推進費 （722百万円） ・ラグビーワールドカップ2019 開催費・開催推進費 （722百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 ラグビーワールドカップ2019™を活かした暮らし てよし・訪れてよしのまちづ くりの推進 【継続】 【要望内容】 ② 国内外から本市を訪れる ラグビーワールドカップ観 戦者を、熱いおもてなしで迎 え本市の魅力を楽しむため、 「交通輸送」「ファンゾーン・ おもてなしエリア」「都市装 飾」「ボランティア」などの 予算を確保すること。	② ・愛知県と連携して作成する交通輸送、ファンゾーン、都市装飾、ボラン ティア等の実施計画により、観戦客等が快適に滞在でき満足できる よう適切に運営する。 ・国内外から来訪する多くの観戦客へのおもてなしとして、以下の取組 を市民や地元の商店街等と行うことで、本市の魅力発信等につなげる。 （１）試合観戦以外の時間に市内観光ができるツアーの造成や国内外に 向けた豊田市の観光情報等の発信を行う。 （２）アクセス方法や試合以外の関連イベント等の情報を効果的に発信 し、来訪者の利便性向上を図るホームページの改修を実施する。 （３）おもてなしエリアやファンゾーンで文化や芸術、観光地等の地域 の魅力を発信する。 （４）市民等が観戦客や観光客をおもてなしする開催都市独自ボラン ティアの募集・運営を行う。 （経営戦略部 経営戦略課、ラグビーワールドカップ2019推進課）	・ラグビーワールドカップ2019 開催費・開催推進費 （722百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 持続可能な未来都市に向けた取組の推進 【継続】 【要望内容】 ① 環境・エネルギー分野に限らず超高齢社会への対応や交通安全の推進など、将来にわたって市が抱える課題の解決に向けて、AI・IoT等の新たな技術の活用によって安全安心な市民生活の確保や地域経済の活性化に資する取組を支援するための予算を確保すること。	① - 平成30年度に策定した「未来都市とよたビジョン」が目指す豊かな暮らしの実現に向けて、「豊田市つながる社会実証推進協議会」の体制・活動支援策などを見直し、協議会の活性化を図る。 - 特に、自動走行技術の実証は、平成31年度以降において一部公道での実証に向けて準備を進める。 （企画政策部 未来都市推進課）	- 次世代社会システム実証推進費 （13百万円） - 自動走行実証推進費 （8百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 持続可能な未来都市に向けた取組の推進 【継続】 【要望内容】 ② とよたエコフルタウンをはじめ、本市をフィールドに展開される先進実証等の取組の見せる化に資するプロモーション予算を確保すること。	② ・とよたエコフルタウンのリニューアルを通じ、パビリオン内展示を中心に更新することで、豊田市の先進実証の取組の見せる化を図る。 ・更に、ラグビーワールドカップ2019™を始め、市内外で開催のイベントや展示会、国際会議等を活用し、先進実証等の本市の先進的取組を積極的にプロモーションして行く。 （企画政策部 未来都市推進課）	・次世代社会システム実証推進費 （3百万円） ・自動走行実証推進費 （8百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 中山間地域における地域資源を活用したまちづくりの推進 【継続】 【要望内容】 ① 平成28年3月に策定した「おいでん・さんそんビジョン」の具体化に向け、（一社）おいでん・さんそんとの共働により、山村地域の魅力・資源を活用した、移住・定住の促進、観光・交流の促進、地産地消の推進による生業創出、住み続けられる環境づくり等の取組に向けた必要な予算を確保すること。	① ・（一社）おいでん・さんそんとの共働により、いなか暮らし総合窓口を中心とした移住・定住の促進、スモールビジネスなど生業の創出支援、都市部の企業や団体と山村部の集落等の交流コーディネートなどを継続して実施していくとともに、新たに山村地域に関わる人材育成事業に取り組んでいく。 （企画政策部 企画課、都市整備部 定住促進課、産業部 農政課、地域振興部 地域支援課及び関係支所）	・ 交流コーディネート事業推進費 （41百万円） ・ 住宅取得費補助金 （80百万円） ・ 中山間地域空き家再生事業補助金 （15百万円） ・ 2戸2戸作戦推進費（3百万円） ・ 定住促進費 （1百万円） ・ 空き家情報バンク登録促進費補助金 （2百万円） ・ グリーンツーリズム推進費補助金 （3百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 土地利用構想の実現に向けた取組の推進 【継続】 【要望内容】 ① 持続可能な都市の成長を支えられるよう自動車産業の大変革や、超高齢社会による労働力不足などの影響を短期・長期両面の視点で見据え、目標設定を明確にしながら計画的な産業用地整備や戦略的な人口施策に必要な予算を確保すること。	① ・計画的な産業用地整備については、産業用地整備の基本方針に基づく計画的な事業展開と必要な調査を進めていく。 ・戦略的な人口施策については、土地の高度利用に向けた取組や既存ストックの活用による住宅施策等の検討を行い、「住宅マスタープラン」を推進していくとともに、都市機能連携拠点におけるまちづくりを検討していく。 （企画政策部 土地利用調整課、産業部 ものづくり産業振興課、都市整備部 定住促進課）	・土地利用構想調査費 (81百万円) ・南部地域産業用地整備費 (34百万円) ・花本地区産業用地造成費 (506百万円) ・住宅マスタープラン推進費 (13百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民が安全で安心できるまちづくりの推進 【継続】 【要望内容】 ① 南海トラフ地震の被害予測結果や風水害などの実績を踏まえ、豊田市に特化した防災・減災対策にかかる予算や情報伝達機能の強化を図る予算を確保すること。	① ・平成28年度に策定・公表した、今後の災害対策を進めるための行動計画である「災害対策推進計画」の進捗管理を引き続き実施すると共に、対策の充実や最新の防災・減災の動向、社会状況の変化等を踏まえて、必要に応じて見直しを実施する。 ・大規模災害時に想定される様々な機関からの支援への対応を整理した「豊田市災害時受援計画」を踏まえ、支援物資の受入れなどについて事業者と連携した訓練を実施し、迅速な受入体制の構築につなげる。 ・災害時の情報伝達機能の強化を図るため、引き続き防災ラジオの販売及び申込みを行う。 ・市民の防災意識の向上、事前の備えによる被害軽減につなげるため、専用サイトを開設し、ピンポイント天気や長時間降雨予想などを公開する。 ・防災カルテを活用し、防災マップづくりなど住民による危険箇所等の把握や避難経路の見直し等の支援及び地域住民の防災意識の向上のため、防災・減災事業により市民啓発と自主防災会の活動支援を進める。 ・避難者対応のため、災害時要配慮者にも配慮しながら、アルファ化米等の食料、水、資機材等の備蓄の充実を図っていく。 （地域振興部 防災対策課） （次ページに続く）	・受援体制推進費 （6百万円） ・災害時情報通信設備整備費 （114百万円） ・災害対策本部運営費 （22百万円） ・自主防災育成費 （3百万円） ・自主防災事業補助金 （13百万円） ・防災啓発費 （6百万円） ・避難者対策費 （26百万円） ・帰宅困難者対策費（6百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
	・ 橋りょうについては、平成8年道路橋示方書より古い基準で設計された橋長15m以上の橋りょうのうち、跨線橋や跨道橋、緊急輸送道路等を構成する重要橋りょうに対し、優先順位を付け計画的に耐震補強対策を進めていく。 (建設部 道路予防保全課) ・ 東海豪雨による浸水実績や「境川・猿渡川流域水害対策計画」等に基づき、順次、河川改修や雨水貯留施設の整備を進めている。 ・ また、矢作川においては、国が平成28年度に公表した想定最大規模降雨の洪水浸水想定に対し、国、県とともに設置した水防災協議会で策定した減災の取組方針に基づき事業を進めていく。 (建設部 河川課) ・ 南海トラフ地震の被害予測によると、豊田市内の被害は、従来よりも大きくなると予測されている。震度に関係なく倒壊の危険性の高い、昭和56年以前に建てられた建築物については、今後も耐震診断や耐震改修等補助事業を積極的に進めていく。 (都市整備部 定住促進課) (次ページへ続く)	・ 耐震対策費 (643百万円) ・ 橋りょう修繕・耐震対策費 (270百万円) ・ 河川改良費 (1,489百万円) ・ 流域貯留施設整備費 (117百万円) ・ 矢作川水防災協議会費 (40百万円) ・ 耐震診断費 (13百万円) ・ 耐震補強工事費等補助金 (52百万円) ・ 民間非木造建築物耐震化補助金 (12百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
	(上下水道局共通) ・災害に備えた飲料水備蓄の重要性を、広報紙や各種イベント、地域の防災訓練等を通じて引き続き啓発し、市民の防災意識の向上を図っていく。 ・広域的かつ長時間の停電発生時には、非常用自家発電等への安定的な燃料の補給が重要であるため、確実に調達できる新たな仕組みにより燃料確保に努めていく。 (上下水道局 (上下水) 総務課) (水道事業) ・主要な配水場などの水道施設を結ぶ幹線管路を強化するとともに、「豊田市地域防災計画」に位置付けられた医療機関等の重要給水施設への管路を優先的に耐震管へ布設替えしていく。 ・布設後40年を超えた老朽管（経年管）は、布設年度、水道管の継手等の材質により「経年管整備計画」に基づき、耐震管へ布設替えしていく。 ・耐用年数前の水道管であっても、漏水多発地区・路線を選定し、優先的に耐震管へ布設替えしていく。 ・水道施設の地震災害対策として浄水・送水施設、場内管路等の耐震化事業を実施するとともに、施設の老朽化による設備故障、構造物劣化等の予防保全対策として改良事業を着実に実施していく。また、停電対策事業として、自家発電設備の新設更新や燃料タンクの増設を行う。 (上下水道局 水道整備課、水道維持課、上水運用センター) (次ページへ続く)	・ペットボトル水製造委託 (10百万円) ・災害時燃料備蓄及び配送委託 (1百万円) ・幹線管路の耐震化事業 (158百万円) ・経年管整備事業(508百万円) ・配水管一般整備事業 (318百万円) 施設耐震化事業 ・篠原中継所・配水場 (場内管路、設備等) (175百万円) ・川田水源送水場(場内管路) (150百万円) 施設災害対策事業 ・上八木浄水場ほか (自家発電設備、燃料タンク) (324百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
	(下水道事業) ・公共下水道管路の耐震化は、国の防災・安全交付金制度を活用し平成29年度に策定した「豊田市下水道総合地震対策計画」に基づき、着実に実施していく。 ・公共下水道雨水施設である中部第1ポンプ場は耐震機能を有していないため廃止し、平成30年度に中部第3ポンプ場へ機能移設するための増設工事を完了した。また、平成30年度に取壊しに向けた実施設計を行っており、平成32年度（2020年度）から工事に着手する予定である。 ・平成30年度に耐震診断を行った中部第2ポンプ場についても、平成32年度（2020年度）から設備更新に併せて耐震補強に着手するため、平成31年度は耐震補強工事の実施設計を行っていく。 （上下水道局 下水道建設課、下水道施設課） ・要配慮者対策として、地域支援者を始めとした住民に対する「避難行動要支援者制度」の周知等により、要配慮者の支援体制強化を図っていく。 （福祉部 福祉総合相談課）	・秋葉1号汚水幹線耐震化工事 （19百万円） ・梅坪1号雨水幹線ほか耐震補強工事 （229百万円） 【参考事項】 国の補正予算に伴う平成30年度対応予算 ・雨水幹線耐震設計業務委託 （24百万円） ・梅坪1号雨水幹線耐震補強工事 （315百万円） ・中部第2ポンプ場再構築実施設計業務委託 （116百万円） ・避難行動要支援者対策費 （5百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民が安全で安心できるまちづくりの推進 【継続】 【要望内容】 ② 犯罪抑止に繋がる防犯カメラ設置の拡大に努めるとともに、犯罪のないまちづくりを推進するため自主防犯活動団体と連携して、防犯パトロールを継続する予算を確保すること。	② ・防犯カメラ設置については、引き続き、自治区等を対象とする補助制度により、設置促進を図る。 ・防犯パトロールについては、引き続き、警察官OBや民間警備会社による地域安全巡回を警察や自主防犯活動団体等と連携を図りながら実施していく。 （地域振興部 交通安全防犯課）	・防犯設備整備費補助金（4/5） （15百万円） ・犯罪抑止活動費（72百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民が安全で安心できるまちづくりの推進 【継続】 【要望内容】 ③ 交通事故防止対策のため地域要望や事故実態を踏まえた交通安全施設の整備や高齢者等の交通事故防止対策にかかる予算を確保すること。	③ ・自治区からの要望等に基づき、緊急性や重要性を考慮した交通安全施設整備を行うとともに、交通事故多発危険交差点や重大事故発生箇所等については、再発防止に向けた迅速な対応に努めていく。 ・高齢者の交通事故防止対策については、高齢者交通安全防犯世帯訪問や高齢者運転技術講習を継続して実施する。 ・交通安全学習センターについては、幼児から高齢者まで心身の発達段階やライフステージに応じた、段階的かつ体系的な交通安全教育を継続的に実施していくため、講習用機器等を更新していく。 (地域振興部 交通安全防犯課)	・事故防止対策費（170百万円） ・高齢者交通安全費（11百万円） ・安全対策推進費（2百万円） ・交通安全学習センター費 特殊機器更新費（117百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民が安全で安心できるまちづくりの推進 【継続】 【要望内容】 ④ 設置地区要望が多い交番の新規設置や警察官の増員などを働きかけること。	④ 警察官の定数の決定や交番の整備については、警察本部が地域の事件事故の発生状況等、地域の実情を基に進めているため、警察本部に「警察力強化の要望書」を提出し、警察官の更なる増員や地域の実情に即した交番の適正配置を含めた警察力強化に向けた要望を行っていく。 (地域振興部 交通安全防犯課)	

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 地域特性を活かしたまちづくりの推進 【新規】 【要望内容】 ① ラグビーワールドカップ2019™を契機として観光資源や地域特性を活用した取組を推進する予算を確保すること。	① ・ニュージーランド対イタリア戦の翌日に足助まつりの本楽が開催されることから、宮町駐車場へ山車を引き入れ、宮町駐車場をおもてなしエリアとすることで観光客の受入環境を整備する。 (地域振興部 足助支所) ・引き続き、Wi-Fi機器の設置、多言語化表示など受入環境の整備を行う。また、観光資源を磨き上げ、観光商品化を目指す人材の育成を図る。 (地域振興部 小原支所) ・(一社) ツーリズムとよたが中心となり、各地区観光協会や観光関係者と協力し、地域の観光資源や観光客のニーズを掛け合せた、体験・交流型の観光商品を企画・販売していく。 (産業部 商業観光課)	・地域活動推進費 地域観光協会補助金（定額）（1百万円） ・観光交流推進費 （1百万円） ・ツーリズムとよた補助金（130百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 地域特性を活かしたまちづくりの推進 【新規】 【要望内容】 ② インバウンド推進のため国内外への情報発信や集客・受入れを推進するための予算を確保すること。	② ・（一社）ツーリズムとよたが中心となり、国内外に向けたプロモーションを図っていく。また、多言語観光案内や民間宿泊施設のトイレの洋式化の支援をしていく。 (産業部 商業観光課) ・外国人観光客への対応のため、香嵐溪の観光案内サインの多言語化や絵文字（ピクトグラム）化を行うほか、香嵐溪もみじまつり期間において、多言語対応できる観光案内所を設置する。 (地域振興部 足助支所) ・道の駅どんぐりの里いなぶにおいて、クレジットカード決済の導入などの会計時におけるキャッシュレス化を検討する。 (地域振興部 稲武支所) (次ページへ続く)	・ツーリズムとよた補助金 (130百万円) ・来訪者受入環境推進費 ○施設整備対策費 (5百万円) ○宿泊施設トイレ洋式化等補助金(1/2) (10百万円) ○観光地魅力向上推進費 (8百万円) ・観光プロモーション費 (4百万円) ・香嵐溪費 施設整備費 (10百万円) ・地域活動推進費 地域観光協会補助金(定額) (2百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
	・ ツーリズムとよたと連携して、主にF I T（海外個人旅行）誘客に向け海外メディアやエージェントによる情報発信に努めていく。 （地域振興部 小原支所） ・ インバウンド推進については、ふじまつり開催期間中、ふじの回廊にW i - F iを設置し、集客・受入推進に向けて取り組んでいく。 （地域振興部 藤岡支所）	

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 地域特性を活かしたまちづくりの推進 【新規】 【要望内容】 ③ 民間業界と連携し、空き家や空き地の発掘や積極的な活用を図る等過疎・定住施策予算を確保すること。	③ ・「第3次豊田市住宅マスタープラン」において、「安全で人と環境にやさしい住まい」を目標に掲げ、既存の住宅ストックを生かすこととしており、空き家等の現状把握を行いながら、利活用に向けた取組を進めていく。 ・空き家情報バンク、空き地情報バンク及び2戸2戸作戦の候補対象物件の掘り起こしの促進のため、移住の好事例などに関する情報発信を行うとともに、各地域の定住委員等との連携を強化していく。特に、空き家及び空き地については、協定を結んでいる愛知県宅地建物取引業協会豊田支部の仲介により、貸主・借主双方の契約に関する不安を取り除くことで、定住を促進していく。 (都市整備部 定住促進課、地域振興部 地域支援課及び関係支所)	・住宅団地整備費補助金 (36百万円) ・建築安全対策事務費 (10百万円) ・中山間地域空き家再生事業補助金 (15百万円) ・2戸2戸作戦推進費(3百万円) ・定住促進費 (1百万円) ・空き家情報バンク登録促進費補助金 (2百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 地域特性を活かしたまちづくりの推進 【新規】 【要望内容】 ④ 地域の活性化を図る地域住民の移動手段である地域バスの更なる充実と生活道路等の整備予算を確保すること。	④ ・地域バスに関しては、地域で育て支えるという方針のもと、地域住民が主体となって組織した地域バス運営協議会により、運行の課題と目標を明確にし、住民意見を反映しながら運行改善を行っていく。また、新たな移動手段としてタクシーの活用や地域住民による共助的移動サービスの導入を検討していく。 (都市整備部 交通政策課、地域振興部 地域支援課及び各支所) ・生活道路等の整備予算については、生活環境の向上に向けた道路拡幅や視距改良など、必要性や緊急性を考慮し、予算確保に努めていく。 (建設部 土木課、地域建設課)	・地域バス運行費（453百万円） ・後退用地整備費（138百万円） ・位置指定道路整備費（9百万円） ・市道新設費（792百万円） ・公共施設歩道設置費（10百万円） ・歩道設置費（489百万円） ・市道改良費1（599百万円） ・市道改良費2（773百万円） ・法定外道路改良費（60百万円） ・市道舗装費（13百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民の生命・財産を守る消防・救急体制の強化・充実 【継続】 【要望内容】 ① 救急救命士・救急隊員の着実な養成・育成等により、救急活動能力の向上や高度な救急救命処置が可能な搬送体制を構築する予算を確保すること。	① ・新たな救急救命士や救急隊員を計画的に養成していく。 ・救急活動能力の向上については、救急救命士及び救急隊員を対象とした研修を実施するとともに、気管挿管、薬剤投与等の処置を行うことができる救急救命士を継続的に育成していく。 ・高度な救急救命処置が可能な搬送体制の構築については、高規格救急自動車及び救命処置用資器材等を計画的に整備していく。 (消防本部 総務課、警防救急課、北・中・南・足助消防署管理課)	・救急高度化推進費（27百万円） ・消防活動企画運営費（1百万円） ・職員研修費（2百万円） ・消防車両整備費（78百万円） ・消防機械整備費（14百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民の生命・財産を守る消防・救急体制の強化・充実 【継続】 【要望内容】 ② 緊急時に自ら応急手当のできる市民の増加を推進し、救命率の向上を図る予算を確保すること。	② ・ 応急手当ができる市民の増加に向け、講習用資器材を充実させるとともに、応急手当インストラクターを活用して、自ら応急手当ができる市民を増やしていく。また、将来を見据え、少年期から応急手当に慣れ親しむ環境づくりを進めるため、小中学生への応急手当講習を実施していく。 ・ 「まちかど救急ステーション」制度を通じて、いざという時、その場に居合わせた市民による的確な応急手当ができる環境を整えていく。 (消防本部 警防救急課、北・中・南・足助消防署管理課)	・ 救急高度化推進費（8百万円） ・ 消防活動企画運営費（1百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民の生命・財産を守る消防・救急体制の強化・充実 【継続】 【要望内容】 ③ 従来からの消防施設・資機材の整備充実に加え、ラグビーワールドカップ2019™でのテロ災害発生等を想定した警戒体制構築に向けた諸整備など、消防対応力の充実強化を図るための予算を確保すること。	③ - 消防施設については、耐震性貯水槽及び消火栓の整備のほか、平成32年度（2020年度）に実施する高機能消防指令システムの部分更新に向けた準備を進めていく。 (消防本部 警防救急課、指令課) - 資機材等については、消防車両や切断用器具、空気呼吸器用のボンベなどを整備していく。 (消防本部 警防救急課、北・中・南・足助消防署管理課) - ラグビーワールドカップ2019™開催に向けて策定した「消防特別警戒計画」に基づき、テロ災害等への対応や火災予防対策の万全な体制を整えていく。 - 対応資機材として、防毒マスクなどを整備していく。 - 外国人来訪者への対応として、大会期間中における多言語コールセンターの対応言語の拡大等、安心して119番通報してもらえる環境づくりを進めていく。 (消防本部 総務課、警防救急課、予防課、指令課、 北・中・南・足助消防署管理課)	- 耐震性貯水槽整備費（80百万円） - 消火栓整備費（36百万円） - 通信機器管理費 (債務負担行為限度額1,983百万円) - 消防車両整備費（574百万円） - 救助・警防活動費（40百万円） - 消防機械整備費（1百万円） - 震災対策消防設備整備費 (4百万円) - ラグビーワールドカップ2019 消防特別警戒費（7百万円） - 多様な119番通報費（4百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民の生命・財産を守る消防・救急体制の強化・充実 【継続】 【要望内容】 ④ 地域防災力を向上のため、消防団員確保に向けた取組と消防団装備等の充実を図る予算を確保すること。	④ ・消防団員確保に向けた取組については、平成30年度に制作した消防団PR動画を活用して消防団の魅力を幅広く発信し、市民や地域、企業等の理解を深め、消防団員の確保につなげていく。 ・なお、機能別団員については、災害支援機能別団員の対象地区や学生機能別団員の大学等の拡大により、計画的に増員していく。 ・消防団装備等の充実については、車両、防火衣及びデジタル簡易無線機のバッテリーの更新を行い、安全で確実な消防団活動につなげていく。 (消防本部 総務課)	・消防団運営費 (17百万円) ・消防団員（機能別団員）報酬 (1百万円) ・消防団消防機械整備費 (34百万円) ・消防団充実強化推進費 (49百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民生活を支える上下水道施設の整備促進 【継続】 【要望内容】 ① 上水道・下水道施設の耐震化、老朽化による更新事業を着実に進めるための必要な予算を確保すること。	① (上下水道事業共通) ・持続可能な上下水道事業の実現を目的として、上下水道施設の総合的な維持管理計画であるストックマネジメント計画を策定し、実施していく。 ・ストックマネジメント計画により、上下水道施設における維持管理の最適化を図るため、リスク評価に基づく適切な点検・調査を実施し、施設の健全度の把握に努め、予防保全と事後保全を適切に組み合わせた修繕・長寿命化・更新を行う。 (次ページに続く)	

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
	(水道事業) ・水道施設の老朽化対策は、平成32年度（2020年度）の運用開始を目指し策定を進める「(仮)水道ストックマネジメント計画」に基づき、着実に実施していく。 ・主要な配水場などの水道施設を結ぶ幹線管路を強化するとともに、「豊田市地域防災計画」に位置付けられた医療機関等の重要給水施設への管路を優先的に耐震管へ布設替えしていく。 ・布設後40年を超えた老朽管（経年管）は、布設年数、水道管の継手等の材質により「経年管整備計画」に基づき、耐震管へ布設替えしていく。 ・耐用年数前の水道管であっても、漏水多発地区・路線を選定し、優先的に耐震管へ布設替えしていく。 ・水道施設の地震災害対策として浄水・送水施設、場内管路等の耐震化事業を実施するとともに、施設の老朽化による設備故障、構造物劣化等の予防保全対策として改良事業を着実に実施していく。 （上下水道局 （上下水）企画課、水道整備課、水道維持課、上水運用センター） （次ページへ続く）	・水道施設管理システム構築委託（60百万円） ・幹線管路の耐震化事業（158百万円） ・経年管整備事業（508百万円） ・配水管一般整備事業（318百万円） 施設耐震化事業 ・篠原中継所・配水場（場内管路、設備等）（175百万円） ・川田水源送水場（場内管路）（150百万円） 施設一般整備事業 ・豊田配水場（配水ポンプ更新）（120百万円） ・水需要予測システム更新事業（192百万円） ・その他整備事業（508百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
	(下水道事業) ・公共下水道管路の耐震化・老朽化対策は、国の防災・安全交付金制度を活用し平成29年度に策定した「豊田市下水道総合地震対策計画」及び「下水道ストックマネジメント計画」に基づき、着実に実施していく。 ・公共下水道雨水施設である中部第1ポンプ場は耐震機能を有していないため廃止し、平成30年度に中部第3ポンプ場へ機能移設するための増設工事を完了した。また、平成30年度に取壊しに向けた実施設計を行っており、平成32年度（2020年度）から工事に着手する予定である。 ・平成30年度に耐震診断を行った中部第2ポンプ場についても、平成32年度（2020年度）から設備更新に併せて耐震補強に着手するため、平成31年度は耐震補強工事の実施設計を行っていく。 （上下水道局 （上下水）企画課、下水道建設課、下水道施設課）	・下水道管路改築更新工事（汚水） （92百万円） ・秋葉1号汚水幹線耐震化工事 （19百万円） ・梅坪1号雨水幹線ほか耐震補強工事 （229百万円） ・マンホール蓋更新（雨水） （50百万円） ・下水道管路施設包括的維持管理業務委託 （121百万円） 【参考事項】 国の補正予算に伴う平成30年度対応予算 ・雨水幹線耐震設計業務委託 （24百万円） ・梅坪1号雨水幹線耐震補強工事 （315百万円） ・中部第2ポンプ場再構築実施設計業務委託 （116百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民生活を支える上下水道施設の整備促進 【継続】 【要望内容】 ② 安全・安心な水道水を安定供給する施設体制を整えるための必要な予算を確保すること。	② (水道事業) ・安全・安心な水道水を安定供給するために、効率的、効果的な水道施設を整備・運用していく。 ・布設後40年を超えた老朽管（経年管）は、布設年数、水道管の継手等の材質により「経年管整備計画」に基づき、耐震管へ布設替えしていく。 ・耐用年数前の水道管であっても、漏水多発地区・路線を選定し、優先的に耐震管へ布設替えしていく。 ・日常の適正な施設運用管理に加えて、施設監視や防犯の強化により、安全で良質な水道水の供給に努める。また、取水井改良工事を実施し、自己水の安定確保を図る。 （上下水道局 水道整備課、水道維持課、上水運用センター）	・水道管新設事業（39百万円） ・経年管整備事業（508百万円） ・配水管一般整備事業 （318百万円） 施設一般整備事業 ・水需要予測システム更新 （192百万円） ・その他整備事業（490百万円） ・取水井改良工事（18百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民生活を支える上下水道施設の整備促進 【継続】 【要望内容】 ③ 下水道の概成10年に向け、アクションプランに位置付けた区域の整備促進するための予算を積極的に確保すること。	③ (下水道事業) ・平成28年度に公表した「未普及解消アクションプラン」に基づき、平成37年度（2025年度）までの汚水処理概成を目指し、下水道整備に係る予算を集中的に確保していく。 ・事業実施においては、国庫補助金（社会資本整備総合交付金）を積極的に活用するとともに、発注方法の見直し等によりコスト削減や工期短縮に取り組み、効率的、効果的な整備を進めていく。 (上下水道局 下水道建設課)	・公共下水道事業管路実施設計業務委託（391百万円） ・公共下水道管路築造工事（2,205百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民生活を支える上下水道施設の整備促進 【継続】 【要望内容】 ④ 汚水処理の未普及解消に向け、合併処理浄化槽普及促進にあたっての予算を拡大確保すること。	④ (下水道事業) ・下水道等集合処理計画の無い個別処理区域での生活排水対策として、合併処理浄化槽の新設に対しては現行の補助額を確保し、単独処理浄化槽や汲取りトイレからの転換・撤去に対する補助額については、平成28年度から増額しており、引き続き合併処理浄化槽の普及促進を図っていく。 ・上水道の取水口における水質を保全するために、水源地域（取水口上流地域）での合併処理浄化槽への転換に対し、水道水源保全基金を活用した上乗せ補助を引き続き実施していく。 （上下水道局 下水道施設課、(上下水) 総務課）	・合併処理浄化槽設置費補助金 （一般会計 147百万円） ・合併処理浄化槽設置費補助金 （特別会計 3百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民生活を支える上下水道施設の整備促進 【継続】 【要望内容】 ⑤ 浸水被害から市民の生命と財産を守る雨水施設の計画的な整備推進を図るため、必要な予算を確保すること	⑤ (下水道事業) ・近年頻発する大雨を想定の上、宅地の浸水被害の減少に向けた公共下水道事業の整備を推進していく。 (上下水道局 下水道建設課、(上下水) 企画課)	・マンホール蓋更新（雨水） (50百万円) ・雨水管路整備実施設計業務委託 (6百万円) 【参考事項】 国の補正予算に伴う平成30年度対応予算 ・雨水管理総合計画策定業務委託 (29百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 こども園改築及び幼稚園認可園の保育所認可化の推進 【継続】 【要望内容】 ① 園舎の老朽化対策、待機児童対策及び民間移管の推進を目的とする高嶺こども園の改築に必要な予算を確保すること。	① ・高嶺こども園の改築については、園舎の老朽化、駐車場の慢性的な不足など、現状の諸問題を改善するため、全棟改築を行っていく。 ・また、改築に合わせて0～2歳児の定員を拡大し、待機児童対策を進める。 ・改築の後、3歳児幼児教育のニーズに応えられるよう民間移管を行っていく。 （子ども部 保育課）	・高嶺こども園建設費（継続費） （854百万円） 【参考事項】 平成29年度 用地取得・造成工事 （※土地開発公社対応）、改築設計 平成30年度 改築設計、改築工事 平成31年度 改築工事、新園舎完成 平成32年度（2020年度） 新園舎での保育開始、旧園舎取壊し、園庭・駐車場整備工事 平成33年度（2021年度） 民間移管

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 こども園改築及び幼稚園認可園の保育所認可化の推進 【継続】 【要望内容】 ② 待機児童の大半を占める0から2歳児の受入枠を拡大するため、住吉こども園の幼稚園認可園を保育所認可に切り替える改修費等必要な予算を確保すること。	② ・住吉こども園については、園舎を改修し、保育所認可に切り替えて、0～2歳児の受入れを行う予定であり、平成30年度に改修設計、平成31年度に改修工事を実施する。 （子ども部 保育課）	・大規模改造費（住吉こども園） （145百万円） 【参考事項】 平成30年度 造成工事、改修設計 平成31年度 改修工事 平成32年度（2020年度） 受入開始予定

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 学校施設の学習環境整備・教室へのエアコン設置と、トイレ再整備 【継続】 【要望内容】 ① 児童・生徒が安全・安心で快適に学習することができるよう、教室へのエアコン設置する予算を確保すること。	① ・児童・生徒が日常学習で使用する教室への空調機器の設置について、平成30年度に国が新設する「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」を活用し、小中学校とともに平成31年（2019年）6月末までの完了を目指し、事業を実施していく。 （学校教育部 学校づくり推進課）	・空調機器整備費 【参考事項】 ・国の補正予算に伴う平成30年度12月補正予算、3月補正予算（予定） 中学校費 空調機器整備費 （2,523百万円） ・平成30年度3月補正予算（予定） 小学校費 空調機器整備費 （4,500百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 学校施設の学習環境整備・老朽化対策と、トイレ再整備の加速化 【継続】 【要望内容】 ② トイレの再整備については、学校現場からのニーズも非常に高いことから、早期・計画的にトイレ整備を進めるための予算を確保すること。	② ・トイレ再整備については、保全改修と合わせた整備に単独のトイレ整備を加えた加速化により、第1期整備として、平成29年度に対象校全ての校舎棟の各階1か所の整備が完了した。 ・平成30年度から、第2期トイレ再整備を始めているが、整備率が平成30年度末で56.5%であることから、引き続き財政状況を踏まえ計画的に進めていく。 (学校教育部 学校づくり推進課)	・保全改修費 トイレ再整備設計 小学校4校 (6百万円) 中学校1校 (2百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 ラグビーワールドカップ2019™等に向けた取組の推進 【継続】 【要望内容】 ① ラグビーワールドカップ2019™を文化芸術により盛り上げ、来豊者をもてなし、本市の魅力を発信するために、多くの市民が参加する各種文化事業の展開に必要な予算を確保すること。	① ・ラグビーワールドカップ2019™等を活用して、多くの人の記憶に残るような豊田市ならではの文化事業を実施し、豊田市の魅力を国内外の来訪者にアピールしていく。 ・具体的には、ラグビーワールドカップ2019™期間中に開催する「あいちトリエンナーレ」をまちなかで展開するとともに、「とよた市民アートプロジェクト」や「とよたデカスプロジェクト」など、市民が主役となる様々な文化事業を組合わせて開催する。 ・こうした文化事業の開催により、参加者やボランティアを含め、幅広い交流を生み出し、文化芸術に親しみ、活躍する市民のすそ野拡大を図っていく。 ・また、ラグビーワールドカップ2019™を契機とした文化芸術の盛り上げをレガシーとして継承するとともに、豊田小原和紙を国内外に発信し、国際的な文化交流を図ることを目的とした「2020年豊田国際紙フォーラム」の開催に向けて、庁内体制の構築と展示館・工芸館などの施設整備を図る。 （生涯活躍部 文化振興課、地域振興部 小原支所）	・あいちトリエンナーレ （93百万円） ・市民アートプロジェクト推進費 （16百万円） ・小原和紙のふるさと費 （130百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 ラグビーワールドカップ2019™等に向けた取組の推進 【継続】 【要望内容】 ② ラグビーワールドカップ2019™、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機として、幅広い世代の市民がスポーツを楽しむ機運の醸成を加速化する取組に係る予算を確保すること。	② ・国際的な大規模大会をスポーツのすそ野を広げる絶好の機会と捉え、「する」「楽しむ」「支える」取組を行う。 ・「する」取組としては、ヴェルブリッツやスポーツ推進委員によるラグビー体験会の充実、「豊田マラソン」や「とよた健康づくりウォーキング」を開催する。特に「豊田マラソン」は第40回の記念大会として著名なゲストランナーを迎えるなど大会の盛り上げを図る。 ・「楽しむ」取組としては、「豊田市わがまちアスリート」の活躍を広報とよた等で発信するとともに、おいでん祭りのパレード参加などを通じて、市民が楽しみながら応援する機運を醸成する。 ・「支える」取組としては、地域のスポーツを支える各スポーツクラブが連携して、クラブ未設立の地域にも事業を展開するなど、より多くの市民にスポーツを楽しむ機会を提供する。 ・大規模イベント等を積極的に誘致し、幅広い市民を巻き込みながら、これらをまちの活性化に生かす取組を行っていく。 （生涯活躍部 スポーツ課）	・生涯スポーツ推進費 (24百万円) ・トップアスリート・スポーツチーム応援費 (4百万円) ・地域スポーツクラブ育成支援事務費 (2百万円) ・文化・スポーツのまち推進費 (14百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 コミッション事業推進に資 するスポーツ・文化施設の機 能維持・向上 【新規】 【要望内容】 ① 質の高いスポーツ・文化 施設を生かして、今後も戦略 的に本市の活性化につなが る大規模イベント等を誘致 するために、必要な施設環境 の改善を行う予算を確保す ること。	① ・ポテンシャルの高い施設を最大限に活用し、市内外から多くの方々に利用いただくため、質の高い文化・スポーツ事業を誘致してまちづくりに生かしていくことは重要なことと認識している。 ・豊田スタジアム、スカイホール豊田、豊田市民文化会館、コンサートホール・能楽堂など集客力の高い施設の魅力向上は、大規模イベント等を誘致するために必須であり、そのための必要な予算の確保に努める。 （生涯活躍部 スポーツ課、文化振興課）	

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 新北部給食センター改築事業の推進 【継続】 【要望内容】 ① P F I 方式で進める新北部給食センターの移転新築に向けた施設の建設のため、建設工事を計画的に実施していく予算を確実に確保すること。	① ・平成29年12月に事業者と契約締結し、平成30年1月から施設の基本設計・実施設計を行い、11月から本体工事に着工した。 ・平成32年（2020年）4月の供用開始に向けて、建設工事を計画的に実施していく。 （学校教育部 保健給食課）	・北部給食センター費 （2,558百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 博物館整備事業の推進 【継続】 【要望内容】 ① 博物館整備に関し施設の設計及び建設を進めるための予算を確保すること。	① ・「(仮称) 豊田市博物館基本計画」を踏まえ、建築物・外構や展示・収蔵庫などの設計を行うとともに、資料の調査や市民への周知・理解を深める取組などを実施する。 (教育行政部 文化財課) ・博物館を含む文化ゾーンを魅力的なエリアにしていくために、施設の利便性や良好な住環境に配慮した進入路、駐車場等の基盤整備を進めていく。 (生涯活躍部 文化振興課)	・博物館費 (178百万円) ・文化ゾーン施設整備費 (37百万円) (うち6百万円は土地開発公社対応)

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 豊田地域文化広場の再整備 の推進 【新規】 【要望内容】 ① 豊田市南部中心地にある複合施設豊田地域文化広場は、スポーツや多様な文化活動の総合複合施設として多くの市民の活動拠点となっている。今後、更なる利用促進や利用ニーズの多様化が見込める中、市民の健康増進の観点から施設機能の充実が必要である。そこで、公共施設長寿命化計画を前倒し、当施設の機能拡充を含んだ施設再整備が実施されるよう必要な予算を確保すること。	① ・施設・設備の老朽・劣化、利用者の安全・安心等に対応した修繕を基本として、必要な機能改修を図っていく。 ・平成30、31年度の2か年で、利用者の利便性の向上と安全安心を図ることを目的に、トイレの洋式化とプールの特定天井部の改修を進めている。 ・なお、スポーツ施設整備の方向性については、現在策定中の（仮称）スポーツ施設整備基本方針で明らかにする予定であり、今後の施設整備は、本方針の考え方や市内施設の利用状況、市民ニーズの変化等を踏まえて適切に対応していく。 （生涯活躍部 市民活躍支援課、スポーツ課）	・地域文化広場施設整備費 （5百万円） 【参考事項】 ・建築予防保全課で文化体育施設維持補修費として1百万円の予算を確保している。

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 現在の福祉相談窓口の内容 充実と総合相談体制の展開 【継続】 【要望内容】 ① 現在開設されている、2ヶ所の相談窓口における課題を検証し、相談窓口の各地区への展開を図るため、人材確保を始め、整備に対する予算を確保すること。	① - 平成29年度に高岡、平成30年度には猿投に福祉相談窓口を開設し、地域住民や関係機関と連携し、課題を抱える世帯に対する相談支援を実施するとともに、支え合いの地域づくりに取り組んでいる。 - 引き続き、社会福祉協議会と一体となった現行の総合相談体制の下、住民が地域の福祉的課題を「我が事」として捉えられる意識の醸成に努め、相談窓口での取組の充実を図る。 - また、相談支援等に対応できる職員の人材育成を進めるとともに、今後の地区展開に向けて取組実績の検証を行い、より効果的な人員体制や窓口設置の在り方について検討していく。 （福祉部 福祉総合相談課）	総合相談窓口運営事業費 (30百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 急激な高齢化と在宅療養・福祉基盤の強化 【継続】 【要望内容】 ① 在宅療養を支える人材の確保と安全・安心で質の高いサービスを提供するための人材育成に対する予算を確保すること。	① ・平成30年3月に策定した「豊田市在宅療養・福祉連携推進計画」に基づき、在宅療養に携わる医師、訪問看護師、介護支援専門員や地域包括支援センター職員等の相談職の人材を計画的に確保・育成する。 ・医師については、豊田市・藤田医科大学連携地域医療学寄附講座や在宅医療サポートセンター事業等による在宅医の確保・育成を行う。 ・訪問看護師については、豊田地域医療センター内に（仮）訪問看護師人材育成センターを設置し、新卒・新任訪問看護師の育成のほか、現任訪問看護師のスキルアップ、育成担当者の養成等を行う。 ・相談職については、研修体系の構築を図り、研修を見える化するとともに、地域包括支援センター職員や介護支援専門員等専門職のスキルアップ研修等を行う。 ・また、介護サービス機関連絡協議会等と連携し、福祉就職フェアの開催による人材確保、介護福祉業界のイメージアップを図る。 (福祉部 地域包括ケア企画課、総務監査課、高齢福祉課、介護保険課)	・豊田地域医療センター運営費負担金 (370百万円) ・在宅医療・介護連携推進事業費 (29百万円) ・地域福祉計画推進費(8百万円) ・地域包括支援センター費機能強化費 (4百万円) ・介護人材確保事業費 (16百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 急激な高齢化と在宅療養・福祉基盤の強化 【継続】 【要望内容】 ② 在宅療養を安定的に提供できる先端技術の研究と拠点整備に関する予算を確保すること。	② ・ 豊田地域医療センターを拠点として、ロボット技術を活用した地域リハビリテーションの展開を進める。 ・ 豊田地域医療センターによるオンライン診療の実証実験の継続とともに、かかりつけ医による実証を進める。 ・ 平成30年7月から着手している豊田地域医療センターの再整備工事について、平成34年（2022年）の整備完了を目指し進めている。 （福祉部 地域包括ケア企画課）	・ 在宅医療・介護連携ツール導入費（3百万円） ・ 豊田地域医療センター運営費負担金（370百万円） ・ 豊田地域医療センター再整備費（2,999百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 障がい者・その家族への包括的な支援体制の構築 【継続】 【要望内容】 ① グループホーム・日中活動の場などの支援事業の継続のための予算を確保すること。	① ・ グループホームや日中活動場所の整備や運営に対する補助制度の活用を促していく。 ・ 障がい者の日中活動場所として、南部地区に新たに設置予定の1次救急診療所・こども外来療育施設に併設して、障がい者就労施設（喫茶）を整備する。平成32年（2020年）夏頃の開業する予定。 ・ また、県営手呂住宅の跡地に、重症心身障がい者を対象とした日中活動施設を整備する。平成30年度に用地造成、平成31年度に建築工事、平成32年（2020年）4月に開所予定。 （福祉部 障がい福祉課）	・ グループホーム整備費補助金 （24百万円） ・ 障がい者グループホーム等設置運営費補助金（37百万円） ・ グループホーム受入促進事業費補助金 （13百万円） ・ 民間障がい者施設整備費補助金 （151百万円） ・ 公共施設活用整備費 （21百万円） ・ 日中活動場所賃借費補助金 （1百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 障がい者・その家族への包括的な支援体制の構築 【継続】 【要望内容】 ② 家族のニーズに合わせた支援体制の整備を実施すること。	② ・ 引き続き、障がい者相談支援事業所に障がい者相談支援専門員を配置することで、障がい当事者やその介護者等からの様々な相談に乗り、必要な情報提供を行うことで、地域で安心して日常生活を送ることができるように支援する。 ・ 重症心身障がい児・者への対応については、医療機関との調整が多岐にわたるため、専属コーディネーターを配置することで、障がい者の暮らしを支えていく。 （福祉部 障がい福祉課）	・ 福祉事業団運営費補助金（うち、専属コーディネーター人件費分）（3百万円） ・ 相談支援費（100百万円） ・ 地域活動支援センター費（うち、委託料）（40百万円） ・ 家族介護者負担軽減事業補助金（10百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 市民・事業者の環境意識の向上と環境配慮行動を促す仕組みの充実 【新規】 【要望内容】 ① 食品ロス削減やリサイクルステーションの利活用の推進など、ごみの減量化、資源化に向けた取組を推進する予算を確保すること。	① ・食品ロス削減に向けて、家庭でのエコクッキングや余った食材を有効活用するフードドライブに取り組むほか、スーパー等と連携した啓発ポスターの掲示や飲食店での食べきりの啓発等の取組について、更に推進を図っていく。 ・リサイクルステーションの利活用や集団回収の促進など、ごみの資源化を推進するとともに、環境委員情報交換会や資源・ごみ分別アプリ等で分かりやすい情報発信に今後も努め、ごみの減量を図っていく。 (環境部 ごみ減量推進課)	・ごみ減量啓発費（2百万円） ・リサイクルステーション運営費 （167百万円） ・集団回収報償金（33百万円） ・集団回収事業補助金 （11百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 市民・事業者の環境意識の向上と環境配慮行動を促す仕組みの充実 【新規】 【要望内容】 ② エコポイント制度の推進や、太陽光発電をはじめスマートハウスを実現する機器設置への支援など、市民の環境配慮行動を促すための予算を確保すること。	② ・省エネ家電への早期買換え等、市民の日常生活における環境配慮行動を促すためのインセンティブとして、引き続き、とよたエコポイントを活用していく。 ・太陽光発電、家庭用エネルギー管理システム（H E M S）及び蓄電池の3機器が備わった「豊田市版スマートハウス」や、年間のエネルギー消費量の収支“ゼロ”を目指す「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（Z E H）」の普及に向け、補助制度の拡充と啓発を行っていく。 (環境部 環境政策課)	・家庭用燃料電池設置費補助金 (10百万円) ・家庭用エネルギー管理システム設置費補助金 (6百万円) ・家庭用蓄電池設置費補助金 (35百万円) ・スマートハウス普及促進費 (1百万円) ・とよたエコライフセンター費 (6百万円) ・スマートハウス化設備設置費等補助金 (24百万円) ・住宅用エコ窓設置費等補助金 (6百万円) ・エコファミリー推進費 (24百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 感染症予防対策の強化と危機管理体制の整備 【継続】 【要望内容】 ① 新型インフルエンザ・はしかなど感染症の流行が問題になっている中、予防対策・発生時の対応強化に対する予算を確保すること。	① ・新型インフルエンザ等感染症の発生時の対応については、「豊田市新型インフルエンザ等対策行動計画」等に基づき、「業務継続計画」を含む対策部対応マニュアルを整備し、これらに基づき実施しており、今後も適切に対応していく。 ・新型インフルエンザ等感染症の集団発生に備えて、患者搬送用資器材や防護具を備蓄し、これらを活用した訓練を実施することで発生時に備えており、引き続き確実に推進していく。 ・はしか（麻しん）や風しんは、感染力が強くワクチンで予防することが重要であることから、予防対策として定期予防接種に加え、任意の予防接種の費用助成として「麻しん対策事業」「風しん対策事業」を実施している。 ・また、平成30年度は、はしか（麻しん）の全国的な流行があったことから、9月に対象者の拡大及び抗体検査を導入し、対策を強化した。今後も全国的な状況を踏まえながら効果的に推進していく。 ・さらに、新たに定期接種の対象となった成人男性の風しんワクチンの予防接種を確実に進めるため、体制確保に努める。 （保健部 感染症予防課）	・ 新型インフルエンザ対策費 (5百万円) ・ 定期予防接種費 (1,453 百万円) ・ 任意予防接種費 (54百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 ラグビーワールドカップ 2019™における健康危機管理 【新規】 【要望内容】 ① ラグビーワールドカップ 2019™などの国際イベント の開催時における、食の安全・安心の確保と海外からの 感染症への対策に関する予算を確保すること。	① ・ラグビーワールドカップ2019™においては、平成30年度に策定した食品安全対策計画に基づき、豊田市駅周辺の飲食店等に対して重点的な啓発及び監視指導を実施し、食の安全・安心の確保を図っていく。 ・さらに、国際基準であるHACCPについて食品等事業者の自主的、自発的な取組を促すため、引き続き、事業者のアドバイザー的存在となる「豊田市HACCPサポーター」を養成し、豊田市食品衛生協会等と連携してHACCPの周知普及を図っていく。 (保健部 保健衛生課) ・国際イベントの開催時における海外からの感染症への対策として、海外からの持込み感染症のリスク評価や市内の蚊の調査等の実施に加え、発生時の対策として、必要備品等の計画的な備蓄及び備品等を活用した訓練を実施することで、引き続き体制の強化を図っていく。 ・さらに、平成31年度は集団発生時における迅速な検査やまん延防止に対応できるよう検査費用を増額した。 (保健部 感染症予防課)	・食品衛生監視指導費 (8百万円) ・新型インフルエンザ対策費 (5百万円) ・感染症発生動向調査費 (4百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 ラグビーワールドカップ 2019™開催に向けた外国人 観光客等へのおもてなし環 境の整備 【継続】 【要望内容】 ① 外国人観光客や来訪者の 増加を見据え、まちなかのサ イン施設等の整備に係る予 算を確保すること。	① ・都心環境計画の進捗に合わせて、都心のまちなかサイン施設の再整備に取り組んでおり、ラグビーワールドカップ2019™開催に合わせて、外国人を含めた多様な来街者に対応できるよう「都心サインガイドライン」に基づき、公共交通機関や公共施設等への誘導に必要なサイン施設のリニューアルに取り組んでいく。 （都市整備部 都市整備課）	・サイン施設再整備費（20 百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 ラグビーワールドカップ 2019™開催に向けた外国人 観光客等へのおもてなし環 境の整備 【継続】 【要望内容】 ② 都心環境計画において、 ラグビーワールドカップ 2019™開催と連携し、銀行 の跡地を活用した賑わい空 間の整備推進を図るための 予算を確保すること。	② 銀行跡地を多目的な施設整備を行い、ラグビーワールドカップ 2019™開催時においては外国人を始めとする来訪者のおもてなし や情報発信の場として活用し、その後も当施設にて、にぎわい創出の 取組を行っていく。 (経営戦略部 経営戦略課、ラグビーワールドカップ2019推進課、 産業部 商業観光課、都市整備部 都市整備課)	・ラグビーワールドカップ2019 開催費・開催推進費 (722百万円) ・豊田市駅東口駅前広場整備費 (117百万円) ・まちなか賑わい・回遊性向上費 (6百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 ラグビーワールドカップ 2019™開催に向けた外国人 観光客等へのおもてなし環 境の整備 【継続】 【要望内容】 ③ 都心地区のおもてなしに ついては、庁内関係部局と連 携を図り、総合的な環境整備 の推進を図るための予算を 確保すること。	③ ・庁内の関係部署で組織する「まちなかおもてなし部会」において、全 庁の意見を集約しており、専門家等の意見を取り入れながら、豊田市 の様々な魅力を生かしたおもてなしと統一感のあるプロモーションを 実施する。 (経営戦略部 経営戦略課、ラグビーワールドカップ2019推進課、 産業部 商業観光課、都市整備部 都市整備課)	・ラグビーワールドカップ2019 開催費・開催推進費 (722百万円) ・都心環境計画整備費(30百万円) ・停車場線歩行者専用化試行費 (49百万円) ・まちなか賑わい・回遊性向上費 (6百万円) ・公共空間活用推進費(15百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 ラグビーワールドカップ 2019™開催に向けた外国人 観光客等へのおもてなし環 境の整備 【継続】 【要望内容】 ④ 安全で円滑な輸送・来訪 を実現するアクセス道路等 の早期整備を図るための予 算を確保すること。	④ ・ラグビーワールドカップ2019™開催に向けた関連道路整備につい ては、国において国道153号豊田北バイパスが、愛知県において（都） 豊田則定線（高橋）の4車線化、国道301号野見山拡幅が進められ ている。 ・豊田北バイパスについては、矢作川渡河部の平成31年度の開通見通 しが公表されており、豊田則定線の高橋架替え、国道301号野見山 拡幅と合わせ、ラグビーワールドカップ2019™開催時まで4車 線化拡幅できるよう事業進捗を図っていく。 （建設部 建設企画課） ・市においては、（都）平戸橋土橋線、（都）梅坪堤線の拡幅整備の実施 や寺部土地区画整理事業の推進を図り、人やものの安全で円滑な移動を 実現する道路ネットワークの一層の強化を図っていく。 （建設部 街路課、都市整備部 市街地整備課）	・県事業：国道301号 ・街路建設費（640百万円） ・寺部土地区画整理事業負担金 （742百万円） ・寺部土地区画整理事業繰出金 （279百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 安全で快適な市民生活を営むため幹線道路ネットワークの構築と公共交通の充実 【継続】 【要望内容】 ① 産業拠点の拡大や住宅開発など新たな市街地の誘導を促進するため、都市機能を高める幹線道路ネットワークを早期に構築するとともに、渋滞対策、事故対策など安全で快適な環境にやさしい道路環境の整備を推進し、併せて、公共交通空白地区に対するバス路線の検討及び充実を図る予算を確保すること。	① - 生活、産業を支える快適で質の高いまちの実現を目指し、物流ネットワークの機能強化、日常生活の移動の円滑化などに寄与する道路ネットワークの構築を図っていく。 - 中でも、都市の骨格を形成する幹線道路は、渋滞対策や事故削減に寄与するため、現在、外環状を担う豊田南バイパス、豊田北バイパスの早期整備に向け、国と連携し積極的に事業促進に努めている。また、内環状を担う（都）高橋細谷線は、市事業として事業推進に努めている。 - 放射道路等の幹線道路整備としては、県と連携して国道301号・国道419号・（都）豊田則定線の事業促進を図るとともに、（都）豊田刈谷線（本田西岡工区）や豊田北バイパスに接続する（都）浄水駅北通り線等幹線道路の整備を図っていく。 （建設部 建設企画課、幹線道路推進課、街路課、土木課） - 人の動きや土地利用の状況に応じた基幹バスのサービスを提供することにより、効率性と利便性を向上していく。 （都市整備部 交通政策課）	・ 特定道路建設費 （3, 475百万円） ・ 特定道路改良促進費 （448百万円） ・ 市道改良費1 （599百万円） ・ 市道改良費2 （773百万円） ・ 街路建設費 （640百万円） ・ 市道新設費 （792百万円） ・ 県事業：国道301号 ・ 公共交通利用促進費（80百万円） ・ 基幹バス運行費（579百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 安全で快適な市民生活を営むため幹線道路ネットワークの構築と公共交通の充実 【継続】 【要望内容】 ② 新東名高速道路の豊田東JCT～浜松いなさJCTの開通に伴い、利便性の高い高速道路、幹線道路の有機的なネットワークの構築を図るためにさらなる道路整備の検討を行い、必要な予算を確保すること。	② ・豊田東JCTから浜松いなさJCT開通による約200kmのダブルネットワークにより、広域交通の定時性の確保や移動時間の短縮、ものづくり産業における物流コストの縮減が期待される中、既存高速道路ネットワークを有効に活用するため、東名高速道路の上郷SAにおいてスマートインターチェンジ設置事業を行っている。 ・また、平成29年7月には近隣市の刈谷ハイウェイオアシスにおけるスマートインターチェンジが事業化され、集中する交通の分散化に伴い周辺道路の交通状況の改善等が期待される中、今後も高速道路へのアクセス性向上に向けた道路整備を推進するため、必要な予算確保に努めていく。 （建設部 幹線道路推進課、建設企画課）	・高規格道路建設促進費 (553百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 安全で快適な市民生活を営むため幹線道路ネットワークの構築と公共交通の充実 【継続】 【要望内容】 ③ 超高齢社会に対応するためバス停留所の上屋整備などバス待合環境の充実を図る予算を確保すること。	③ ・超高齢社会に対応するため、バス停留所の上屋整備を検討するとともに豊田市駅東口に開設した「レストえきまえ」の活用を図っていく。 (都市整備部 交通政策課)	・交通結節点整備費（8百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 リニア中央新幹線を視野に入れた名鉄三河線の高架化、名鉄豊田市駅舎等の整備推進 【継続】 【要望内容】 ① 都心環境計画において、豊田市の顔としての駅舎整備を着実に推進し、耐震対策に係る予算を確保すること。	① ・名鉄豊田市駅の駅舎改修については、現在、市と鉄道事業者との役割分担等の合意に向け、構造設計等を進めている。引き続き、鉄道事業者が行う耐震工事に合わせ、都心環境計画における空間デザインとの整合が図られた駅舎改修に向け、協議調整を進めていく。 （都市整備部 都市整備課、交通政策課）	・豊田市駅整備費（6百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 リニア中央新幹線を視野に入れた名鉄三河線の高架化、名鉄豊田市駅舎等の整備推進 【継続】 【要望内容】 ② 市内鉄道4路線の駅舎のバリアフリー化を推進する予算を確保すること。	② ・バリアフリー新法の基本方針では、駅利用者が3,000人／日以上の場合にバリアフリー化の義務が発生するが、基準に達していない駅については、エレベーター等の設置は鉄道事業者の任意であり、経営状況などからも困難な状況となっている。地域の利用促進に係る取組状況を見つつ、鉄道事業者エレベーター等設置の実現に向け働きかけていくとともに新たな整備手法についても検討していく。 (都市整備部 交通政策課)	

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 リニア中央新幹線を視野に入れた名鉄三河線の高架化、名鉄豊田市駅舎等の整備推進 【継続】 【要望内容】 ③ 魅力あるまちづくりの実現に必要な名鉄三河線若林駅付近高架化事業の推進を図るための予算を確保すること。	③ ・名鉄三河線若林駅付近の連続立体交差事業は、現在、名古屋鉄道(株)と連携し、鉄道・側道等の整備に必要な用地の取得、鉄道高架等の設計を進めている。 ・引き続き、必要な用地の取得を積極的に進めるとともに、仮線工事に向け周辺施設の設計、一部準備工事に着手し、事業推進を図っていく。 (建設部 街路課)	・街路建設費（640百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 豊田市運動公園への交通の 利便性の向上 【継続】 【要望内容】 ① 市内有数の運動施設である豊田市運動公園への交通の利便性を向上させ、利用者への負担軽減と利用の増加のため、名古屋鉄道の延伸とパークアンドライド用駐車場整備の推進を図るための予算を確保すること。	① 豊田市運動公園への交通利便性の向上については、新たな利用策や地域のまちづくり、利用者の確保、市の財政状況等を踏まえ、地域や名古屋鉄道(株)の理解と協力を得ながら、今後も継続して検討していく。 (都市整備部 交通政策課)	

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 地方創生に向けた道の駅等の拠点施設の整備促進 【継続】 【要望内容】 ① 地域の課題解決に向けた拠点施設整備を図るための予算を確保すること。	① ・都市部及び山村部の各観光地への来訪を促すため、観光者の流入口となる既存商業施設との連携により、観光資源の魅力を発信する取組を進めていく。 （産業部 商業観光課）	・観光まちづくり推進費 (6百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 更なる定住促進策の立案実施と定住プロモーションの推進 【継続】 【要望内容】 ① 定住へのワンストップサービスにより横断的な相談・支援を展開し、豊田の住みよさを定住プロモーションにより市内外へ積極的に推進を図るための予算を確保すること。	① ・定住促進課において、宅地開発情報や補助制度などの情報発信を行っており、定住全般に関する相談を受けている。今後は、住まいに関する総合窓口であることの周知に努め、ワンストップサービスの更なる充実に取り組んでいく。 ・また、今年度は新たな発想でのプロモーション活動として、テレビ放送や大型ビジョンでの放映、情報誌発刊による市の魅力発信など、市内外へ積極的にプロモーションを行っている。来年度もPR動画、冊子、WEB等に加え、引き続き「ファースト暮らしとよた」のマスコミ等を活用したPRを拡充していく。 （都市整備部 定住促進課）	・定住促進プロモーション費 （15百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 更なる定住促進策の立案実施と定住プロモーションの推進 【継続】 【要望内容】 ② 転出者のニーズにこたえる交通利便性の高い地域への住宅・宅地確保を促進するため、規制緩和や支援などを立案実施し、必要な予算を確保すること。	② ・「第3次豊田市住宅マスタープラン」において、「便利に暮らせる駅周辺居住の推進」を基本方針に掲げ、駅周辺への宅地供給や拠点地域核への居住誘導を踏まえ、都市的高度利用につながる規制や支援などの立案を進めていく。 （都市整備部 定住促進課）	・住宅マスタープラン推進費 （13百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 更なる定住促進策の立案実施と定住プロモーションの推進 【継続】 【要望内容】 ③ 交通利便性の高い鉄道駅周辺への住宅・宅地確保を促進するため、新たな区画整理の事業化推進に必要な予算を確保すること。	③ ・多核ネットワーク型都市構造を確立し、都市拠点における住宅・宅地確保を図るため、交通利便性が高い鉄道駅周辺において、土地区画整理事業の推進に取り組んでいく。 ・現在、施行中の土橋、寺部、花園、浄水、平戸橋、四郷駅周辺、大林本畑地区については、事業計画に基づき計画的な進捗を図るとともに、計画中の若林駅周辺、八草、上豊田駅周辺については、業務代行方式導入を視野に入れ、スピード感を持った事業化検討を地元組織と協力して図っていく。 （都市整備部 市街地整備課、区画整理支援課）	・若林駅周辺土地区画整理調査費 （26百万円） ・八草土地区画整理調査費 （20百万円） ・都市基盤整備調査費（八草地区） （6百万円） ・上豊田駅周辺土地区画整理調査費 （34百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 中核製材工場の稼働を契機 とした林業の活性化推進 【継続】 【要望内容】 ① 中核製材工場の稼働を機 に、地域材利用を活発化させ る取組とその支援のための 予算を確保すること。	① ・市民等に幅広く地域材の良さをPRするため、市と地域の木材関係事業者等で構成する「とよた地域材利用促進協議会」が主催する地域材普及イベント、木のおもちゃプレゼント事業、全国植樹祭、ラグビーワールドカップ2019™における木の見せる化の取組を通して、地域資源である木材の普及促進を図る。 ・地域の木材産業事業者等の参画を得ながら、地域材利用ニーズをつなげるコーディネート組織である（一社）ウッディーラー豊田の活動支援をすることで、中核製材工場と既存製材所等との連携を図り、ブランド化戦略による地域材の認知度向上や商品開発等を進め、林業・木材産業の活性化を推進する。 ・急傾斜地の多い豊田市において、森林保全に配慮しながら木材生産を活発化させるため、木材の集材能力の高いタワーヤードなど架線系機械の有効性の各種調査を行う。 （産業部 森林課）	・地域材利用拡大推進費 （5百万円） ・森づくり推進費計画推進費 （3百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 中核製材工場の稼働を契機 とした林業の活性化推進 【継続】 【要望内容】 ② 団地化等森林整備の基盤 を整えるとともに林業従事 者の人材確保育成など関係 予算を確保すること。	② ・ 地域、森林組合及び市が共働で、地域森づくり会議による団地化を引き続き実施するとともに、詳細な地形データ等の森林情報の高度化について検討し、森林整備の基盤づくりを図っていく。また、岐阜県立森林文化アカデミー等と連携して、森林組合の森林施業プランナーや林業技術者の育成確保に取り組んでいく。 （産業部 森林課）	・ 森づくり推進組織育成費交付金 （24百万円） ・ 森づくり担い手育成支援費補助金 （18百万円） ・ 森づくり人材育成研修補助金 （1百万円） ・ 林業振興事務費 （うち1百万円） ・ 現場技能者育成推進対策費補助金 （4百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 着実な公園整備の推進 【継続】 【要望内容】 ① 中央公園の都市計画決定を早期に推進するための予算を確保すること。	① ・中央公園については、都心や矢作川と連携したにぎわいや魅力ある空間を創出するため、市民合意形成を図った上で計画案を取りまとめ、平成31年度（2019年度）の都市計画決定を目指す。 （都市整備部 公園緑地整備課、企画政策部 都市計画課）	・緑地整備費（90百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 着実な公園整備の推進 【継続】 【要望内容】 ② 矢作川を生かしたにぎわいの創出に、都心及び中央公園と連携した取組みの予算を確保すること。	③ ・矢作川の水辺空間については、都心及び中央公園と連携したにぎわい空間の創出を目指し、引き続き河川管理者と同調した空間整備を推進するとともに、民間事業者の利活用促進と長期利用に向けた事業検討を行っていく。 （都市整備部 公園緑地整備課、建設部 河川課）	・緑地整備費 （108百万円） ・矢作川環境整備費（67百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「平成31年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(平成31年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 着実な公園整備の推進 【継続】 【要望内容】 ③ 都市公園等の着実な整備 を推進すること。	③ ・快適な市民生活の環境確保に向けて、国庫補助金を活用しながら、引き続き公園整備を計画的に進めていく。 (都市整備部 公園緑地整備課)	・街区公園整備費（151百万円）